

農林水産大臣賞

のうじくみあいほうじんみやじだけえいのうくみあい

あまくさ

農事組合法人宮地岳宮農組合(熊本県天草市)

中山間地域の未来を拓く宮地岳の挑戦

1. 地区の概要

宮地岳町は、熊本県天草市の中山間地域に位置し、水稻を中心とした農業が営まれている地域である。約300年続く宮地岳神社の例大祭が受け継がれるなど地域の結びつきが強い一方、高齢化や人口減少、担い手不足が進んでいる。こうした中、地域全体で農地と農業を守るため、平成12年に宮地岳宮農組合が設立され、その後、農事組合法人化を経て、地域ぐるみのむらづくり活動が展開されている。

2. 団体の概要

農事組合法人宮地岳宮農組合は、「宮地岳町全体の農業と農地を守り、農業所得を向上させること」と「地域づくりと活性化への貢献」を柱に活動している。組合員142名が参加し、町内の自治会を取りまとめている地区振興会や地域住民が出資して設立した(株)宮地岳、農村RMO等の各組織と連携しながら、農業振興と地域活性化を一体的に推進している。また、近年は若手代表理事の就任など世代交代も進められている。

3. 団体の取組み

(1) 農業生産面

宮地岳町内の農地集積や農作業受託を進め、約80haの農地を維持管理することで耕作放棄地の発生防止に取り組んでいる。

菜の花プロジェクトを推進し、環境保全型農業に取り組んでいる。また、宮地岳産の米や米焼酎など加工品のブランド化を進め、地域農産物の付加価値向上を図っている。

ドローンや営農管理システム等のスマート農業技術を導入し、省力化と生産性向上に取り組んでいる。

(2) 生活・環境整備面

地区振興会が制作した表情豊かな「かかし」を展示したのをきっかけに、「宮地岳かかしまつり」が始まった。現在では年間3万人規模が訪れる交流イベントへ発展している。

宮地岳小学校跡を活用した「道の駅宮地岳かかしの里」を運営する(株)宮地岳と連携し、農産物販売や農業体験等を通じて交流人口の拡大と地域活性化に取り組んでいる。

営農組合が核となって立ち上げた農村RMOの取組を通じて、地域資源のブランド化や生活支援を進めるなど、常に地域がより良くなるような新しい取組に挑戦している。



環境保全型農業(菜の花プロジェクト)



宮地岳かかしまつり



宮地岳ブランド